


政務調査研究視察 報告書

平成19年 8月 21日提出

視 察 日	平成19年 8月 9日 (木)	
視 察 先	千葉県柏市 (H19.4.1 現在 人口 386,000 人)	
視 察 内 容	議員定数に関する調査	
視 察 者	中根勝美、永田 寛	計 2 名
柏 市	<p>＜柏市の協議経過＞</p> <p>(1) 平成17年3月8日編入合併</p> <p>柏市 331,568 人 72.91k m² 議員 36 人</p> <p>沼南町 46,286 人 41.99 k m² 議員 17 人</p> <p>合併に伴い、在任特例 51 名(2 名辞職)</p> 	
	<p>(2) 平成18年3月～9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併協定書には合併後の議員は40名を基本とし、在任特例期間中に調整を図る旨、記載されていた。柏市議会議員定数条例は36名。 6回の議会運営委員会を開催したが、意見はまとまらず、その間請願が提出された。 請願の要旨は「市民に十分な情報提供を行い、かつ市民の声をよく聞き、十分な調査検討を経て、決定すること」 H18.6.21(6月定例会)継続審査 H18.9.21(9月定例会)不採択 	
	<p>(3) 平成18年9月21日本会議</p> <p>議会運営委員会終了後、「議員定数の条例改正案」が賛成5、会派(全6会派)の代表が連名で提出された。</p> <p>要 旨 ○本則定数36名変更せず</p> <p>○次期(H19.9.1～H23.8.31)の任期に限り40名とする特例を定める条例</p> <p>結果 53名中欠1名 退席4名 議長1名を除き、賛成39名 反対8名</p>	
	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> H19.8.5 選挙が実施された <p>旧沼南地区11名立候補 5名当選 旧柏市地区 44名立候補 35名当選</p>	
	<p>〔感想・岡崎市への反映〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併協議定例に、議員数について具体的に記載されていたが、状況の変化により流動的になっていた。 議員定数は議員自らが、自らの存在をも決することであり、各々立場の異なる議員の意見集約はどこでも同じ困難が伴う。 	

政務調査研究視察 報告書

平成19年 8月 21日提出

視 察 日	平成19年 8月 10日 (金)	
視 察 先	東京都港区役所 (H19.7.1 現在 人口 192,688 人)	
視 察 内 容	妊婦健康診査費助成・出産費用助成について	
視 察 者	中根勝美、永田 寛	計 2 名
港 区	<p><妊婦健康診査費助成について></p> <ul style="list-style-type: none"> 港区においては合計特殊出生率が全国、東京都平均より低迷しているため、少子化対策に力を入れている。 平成18年4月1日に助成制度をスタートした。 出産日及び申請日は現在引継ぎ、港区に住民登録または外国人登録のある方に対し、助成額3万円を支給する。 後払いで振込み支払いを行っている。振込先不明となる例が発生しているため、検討中。 近隣区においては妊婦健診14回分の公費負担を実施する区も出てきた。 金額の増加または多くの健診回数での助成を検討している。 	
	<p><出産費用助成制度について></p> <ul style="list-style-type: none"> 港区は少子化対策の一環として、安心して子を産み育てる環境作りのため、平成18年4月1日より開始。 港区在住者に対し、出産にかかる分娩費が入院費等50万円を限度として、保険から支給される出産育児一時金(35万円)を差し引いた金額を助成。 国際都市港区として外国人も多いので、外国人登録をした人も対象としている。 日本の健康保険に加入していることが支給条件となっている。 海外出産の場合は領事館へ港区住所の届出をする。 出産時の祝い金は全国500自治体で行っている(2005年3月現在、祝い金431自治体、祝い品224自治体) 過疎対策として高額な祝い金を出している所もある。 (宮城県北上町や福島県矢祭町では、第3子以降100万円) 	
	<p>[感想・岡崎市への反映]</p> <p><妊婦健康診査費助成について></p> <ul style="list-style-type: none"> 岡崎市は母子手帳交付時に2回の妊婦健診票を交付しているのみである。 厚生労働省も5回以上の助成が望ましいとの通達を出している。 岡崎市も早急の対応が望まれる。 <p><出産費用助成制度について></p> <ul style="list-style-type: none"> 岡崎市は第3子以降祝い金20万円を出している。 出産費用助成を第1子より行う必要がある。検討を要する。 	

